

授業科目名	教育相談の理論と方法 B (中等) (2100209)		
時間割名	教育相談の理論と方法 B (中等) (44106)		
時間割担当	岡村季光		
実施期	後期	単位数	2 選択
曜日・時限	木・4		

授業の目標・概要

生徒を理解することに重点を置き、生徒理解の内容、思春期の子どものからだと心、生徒理解の方法、進路指導、学業不振の生徒に対する支援の仕方等について学ぶことができる。また、学校における教育相談の進め方、思春期における生徒のさまざまな問題行動の実際とその指導・支援について学校カウンセリングの視点から理解が深められる。

学習の到達目標

最近の中・高校事情の特徴やからだと心の発達という視点から生徒を理解することができる。生徒を理解する意義について考え、生徒理解の具体的な内容や方法を教育活動の実際に即して説明することができる。学校における教育相談の考え方や進め方、その基盤となるカウンセリング理論について理解し、さまざまな問題行動の実際とその指導・支援のあり方を知る。

授業方法・形式

1. それぞれの学習テーマに対して、テキストや補助資料を活用しながら授業を進めていく。
2. 必要に応じて、取り上げるテーマに関するディスカッションを行う。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション
生徒指導の今日的課題は何か。
- 第2回 中・高校生のからだと心の発達
思春期前期の対人関係のピア・グループの特徴と青年期の友人関係の機能を理解する。
- 第3回 生徒理解の基本的な視点
生徒の 自己理解 を深めるための生徒理解がなぜ大切なのか。留意する基本的な見方や態度とは。
- 第4回 生徒理解の内容と方法
生徒理解の3つの側面（身体的側面、心理的側面、社会的側面）について、具体的内容を挙げ理解を深める。
- 第5回 進路指導のための生徒理解と自己理解
進路指導の教育的及び社会的意義についてまとめる
- 第6回 学業不振の原因
生徒の学習を阻むものは何か。授業が「分からない」ということの意味を理解する。
- 第7回 学ぶことを支える意欲
動機づけの種類を学習し、自己有能感や自己決定感を育む取組を理解する。
- 第8回 学業不振からの回復
学習意欲を育てるための支援（無力感の治療）やる気を引き出す学校教育について学ぶ。
- 第9回 学校における教育相談の意義と役割
生徒指導と教育相談の違いと役割を整理し、カウンセリング・マインドに基づく生徒の理解と支援。
- 第10回 心理療法（カウンセリング）の理論
学校における教育相談の基盤となる人間性心理学・精神分析・行動療法等の諸理論を学ぶ。
- 第11回 学校におけるカウンセリングの実際
カウンセリングを進める上での留意点を知り、面接過程を整理する。
- 第12回 スクールカウンセラー（SC）の活動と連携
SCの視点を理解し、SCと教職員との連携について理解を深める。
- 第13回 非社会的行動をとる生徒
非社会的行動の例として、選択性緘黙・不登校生徒への理解と支援について学ぶ。
- 第14回 いじめ・非行の指導
いじめのメカニズムや非行に走る生徒の理解と指導方法について理解を深める。
- 第15回 心に問題をもつ生徒の心理
青年期のメンタルヘルスに関する例として、対人恐怖・強迫性障害・摂食障害の背景や対応の理解を深める。

成績評価の基準

- ・必要に応じて授業中に行う小テストを中心に評価し、授業への理解度をチェックしていく(30%)。
- ・さらに学期末テストにおいて総合的な理解を確認する(70%)。

授業時間外の課題

授業終了後は授業で指示したテキストの該当箇所を読み、ノートにまとめる。小テストで理解できていない箇所は必ずテキストで該当箇所を調べる。

メッセージ

教材・教科書

テキスト：小泉令三（編著）『図説 子どものための適応援助：生徒指導・教育相談・進路指導の基礎』（北大路書房、2006年）

参考書

文部科学省『生徒指導提要』

その他，授業中に指示する場合もある。